

新刊案内 5/20

令和5年度

	書名	著者名
日本文学	日本エッセイ小史 人はなぜエッセイを書くのか	酒井 順子
	ローズマリーのおまき香り 御手洗潔シリーズ	島田 荘司
	特撮家族	高見澤 俊彦
	赤い月の香り	千早 茜
	光と陰の紫式部	三田 誠広
	あえてよかった	村上 しいこ
詩	17音の青春 2023 五七五で綴る高校生のメッセージ	神奈川県大学広報委員会 // 編
時代小説	罪滅ぼし 風烈廻り与力・青柳剣一郎 62	小杉 健治
	初心 鬼役 33	坂岡 真
外国文学	狼の幸せ	パオロ・コニエッティ // 著 飯田 亮介 // 訳
ジュニア	ひげよ、さらば 上・中・下	上野 瞭 // 著・町田 尚子 // 絵
児童	キュリオとかめの大王	斉藤 洋 // 作 ももろ // 絵
	ベサニーとビーストちゃん ベサニーと屋根裏の秘密 3	ジャック・メギット・フィリップス // 著 イザベル・フォラス // 絵 橋本 恵 // 訳

おすすめ本

『赤い月の香り』 千早 茜 著

古い洋館で「香り」のサロンを営む天才調香師・小川朔は、幼馴染みの探偵・新城と共に、依頼人の望む香りをオーダーメイドで作っていた。朝倉満は朔に勧誘され、そこで働くことになるが…。『小説すばる』連載を加筆修正。

おすすめ本

『帰ってきた生協の白石さん』

白石 昌則 著

「生協の白石さん」が18年ぶりに戻ってきた！
「相対性理論と特殊相対性理論どっちが好きですか」「妻との会話がない」など、現役大学生の質問や当時の大学生(現40代)のお悩みにゆる〜く答えるQ&A集。

貸出中の場合は予約ができますのでお申し出ください。次回の発行は、令和5年5月27日(土)です。